

i-PRO株式会社

2年以内のシステム独立のため、200本を超えるデータ連携を4か月で構築！

SharePointアダプターなどを活用し開発コストを10分の1に圧縮、グローバルな対応を短期で実現

i-PRO株式会社は、パナソニックのセキュリティシステム事業部から独立して2019年に設立。パナソニック時代から60年以上の業務経験を持つ監視カメラを扱う「セキュリティプロダクト」、医療用のカメラモジュールを生産する「メディカルビジョン」、ネットワークカメラを構成する部材を提供する「モジュールカメラ」の3つの領域でビジネスを展開。同社では会社設立にあたり、システム面でもパナソニックから独立することを求められていた。そこでは、立ち上げたシステム間の連携インターフェース基盤の構築、世界各国の拠点にサービス提供できる体制を整える必要があった。そこで、基幹システムであるSAP S/4 HANA、Salesforce、CELFで構築したマスターデータ管理システム、PLMやMESといった生産関連システムなどの連携に「ASTERIA Warp」を活用。ノーコード開発を駆使した迅速かつ柔軟な連携インターフェース基盤の構築で、タイトなスケジュールでのシステム移行を遅延なく完了できた。

導入背景

- 2年以内にパナソニックから独立するため、自社システムへの移行が求められ、基幹システム、生産関連システムなど23の新規システムを立ち上げる必要があった
- 新規に構築した基幹システム、生産関連システムの間で、さまざまな連携を実現する必要があった
- 世界各国の拠点に対しても品質を担保しながら、それぞれに異なるスケジュールで順次システムを連携する必要があった

選定ポイント

- ノーコードの開発環境によって、開発者のスキルを問わず、大幅に生産性を向上。技術公開情報も豊富で、自社担当者への開発スキルの伝授も円滑に進む
- さまざまなシステムと連携可能なアダプターが豊富に用意されており、多様なプロトコルやデータフォーマットに対応可能
- システム構築を支援するパートナーであるSCSKはツールに精通しており、製造業での導入実績も豊富にあり安心感があった

効果

- カットオーバー時には214本の連携インターフェースを、4ヶ月という短期間に構築。連携処理は1本10分程度で作成できるケースもあった
- 汎用処理の共通化やテンプレート化により、開発コストを10分の1に削減
- SharePointアダプターを活用して、サードパーティロジティクスへの通関書類(PDF)の送付も自動化
- 各拠点からの連携インターフェースの追加開発や改善などの要望にも、スピーディに応えていける体制が整った

システム概要



ユーザーのひと言



今回のプロジェクトでは、移行期限が厳格に定められている状況において、23のシステムの立ち上げと、214本という数のシステム連携インターフェースの構築を遅延なく完了。特にシステム連携については、SCSK担当者の伴走型開発支援に加え、ASTERIA Warpがもたらす高度な生産性が大きく貢献したと考えます。今後は、高度な技術力を要する連携インターフェースの設計・構築にも、i-PROが独立で取り組んでいくことを目指す一方、Excelアダプターやメール通知トリガー機能など、ASTERIA Warpの提供する多彩な機能を活用して、より高度な自動化、さらなる利便性の向上を実現していくことを考えています。

i-PRO株式会社 市岡 様(お写真)

SCSK株式会社 九州プロダクト・サービス事業本部 ITエンジニアリング第二部 柳 富也 様

User Profile



The Power of Truth

所在地：東京都港区港南2-15-1 品川インターシティA棟14F

会社概要：パナソニックのセキュリティシステム事業部から2019年に独立。監視カメラの提供を中心に、高品質な映像技術で社会の安心・安全に貢献している

業種：製造業

URL：<https://corp.i-pro.com/>